

光熱費削減&補助金活用セミナー

中小企業に求められる省エネ対策と令和5年度の省エネ補助金について



株式会社 エスコ

〒169-0074 東京都新宿区北新宿2丁目21-1 新宿フロントタワー 12階

TEL : 03-5332-3166 FAX : 03-5332-3512

株式会社エスコについて

会社概要

“世界中の「負と不」が「プラス」に変わる”社会を目指し、
創業以来、エネルギーやファシリティ分野を中心に、省エネ・省コスト化などに取り組んでまいりました。

■ 会社概要

会社名	株式会社エスコ
代表者	代表取締役 安西 裕
設立	2005年8月
従業員数	183名（2022年7月時点）
本社所在地	東京都新宿区北新宿2-21-1新宿フロントタワー12F
資本金	1億円
取引先銀行	みずほ銀行、りそな銀行
事業内容	省エネ・省コスト・エネルギーコンサルティングと製品サービスの導入・運用・保安管理
資格・免許	登録電気工事業者、電気保安法人、一級建築士事務所、特定建設業許可等

■ 営業拠点

札幌営業所	札幌市白石区菊水7条2丁目7-1
仙台営業所	宮城県仙台市青葉区一番町3-7-23
名古屋営業所	愛知県名古屋市中区丸の内1丁目17番19号
大阪営業所	大阪府大阪市西区西本町1-3-15
広島営業所	広島県広島市中区八丁堀14-4
福岡営業所	福岡県福岡市博多区博多駅東2-6-28
沖縄営業所	沖縄県那覇市久米2丁目4番6号

■ 主要取引先

（取引先2万社から抜粋）

日産自動車販売/ホンダ自動車販売/トヨタカローラ/三菱自動車販売/メルセデス・ベンツ日本/三菱ふそう/ヨコハマタイヤ
ダンロップタイヤ/ブリヂストンリテール/イエローハット/東日本高速道路/西日本高速道路/日本GE/コマツ建機販売/日立建機
コスモ石油販売/出光リテール販売/富士薬品/メディセオ/三菱地所コミュニティ/三井不動産住宅販売/大京アステージ
住友不動産建物サービス/長谷工コミュニティ/伊藤忠アーバンコミュニティ/日本ハウズイング/ミサワホーム/積水ハウス
ザイマックス/イオンディライト/イケア・ジャパン/ニトリ/いなげや/サークルKサンクス/シダックス/すかいらく/島忠
オザム/サンドラッグ/マルエツ/カクヤス/マツモトキヨシ/ココカラファイン/どん/ドン・キホーテ/スターバックスコーヒー
KDDI/藤田観光/品川プリンスホテル/伊藤園ホテル/沖縄県/鳥取市/町田市/JA/静岡大学 他医療法人、学校法人、自治体等

サービス領域

エスコは、**"生きる上でかかるコストを最適化する会社"**です。

私たちは、コストの定義を、お金のみならず、無駄な時間や心の悩みも含め、
生きる上でかかるコストを最適化することを目指します。



省エネ設備改修工事

各種建設工事で最も得意としているのが、省エネ設備への改修工事です。

2万社を超えるお客様の省エネ・コスト削減対策支援の実績があり、環境省から省エネ診断の専門機関に登録されています。これまで蓄積してきた専門性とノウハウを駆使して省エネ診断でお客様の設備や施設全体のエネルギー使用状況を詳細に調査・分析した上で、エネルギーに関する様々なソリューションをご提案いたします。

▶ 省エネ診断

環境省のCO2削減ポテンシャル診断の「診断機関」として多数の採択実績がある他、官公庁施設の省エネ診断事業の受託、クールネット東京の省エネ対策サポート事業者、オンライン省エネ診断など、多方面での診断実績がございます。

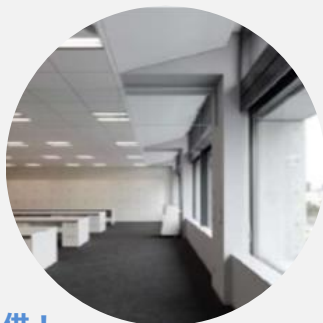


❗ 業種・設備問わず、幅広い診断が可能です

▶ 照明設備改修

照明のLED化は大きな省エネにつながります。ご要望に応じてLED照明に特有のグレア（眩しさ）やフリッカー（ちらつき）などを解決するご提案もさせていただきます。

また、自然光を取り入れることで、照明の照度を抑え、省エネすることも可能です。



❗ 国内メーカーのLED照明を安価にご提供！

▶ 空調設備改修

温度、湿度、換気、空気質など、室内環境を整える空調方式の設計をさせていただきます。室内の断熱性、外気の利用、制御なども検討に加え、より効率のよい空間作りを目指します。

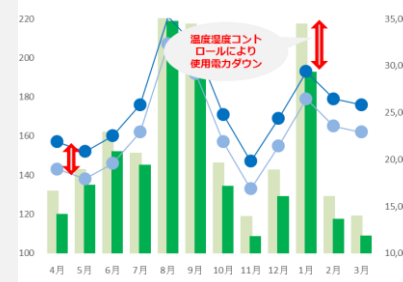


❗ 既設設備の修理も低コストで承ります！

▶ EMS(エネルギー管理システム)

室内環境の温度や湿度をモニタリングし、空調をコントロールし無駄を省きます。快適な環境を損なわずに自動制御で省エネを実現します。

❗ 温湿度センサ+エアコン
CO2センサ+換気等の
多様な自動制御が可能です



補助金活用コンサルティング

エスコでは設備改修工事提案の際に、活用可能な補助金のご提案も同時に実施しております。

補助金のコンサルティング実績も多く、多種多様な補助金情報の中から、削減提案、事業所の特徴に合った補助金情報を提供させていただきます。

エスコが診断、施工、補助金申請等に携わった事業所が環境省より優良事例として公表されたこともありました。

●補助金申請コンサルティング実績

国庫事業・・・639件

例) 経済産業省、環境省、国土交通省など

自治体事業・・・516件

例) 東京都23区、神奈川県、宮城県など

※2022年4月までの累計

多数の補助事業の情報を要点をまとめ、データベース化。
専門のスタッフが随時情報を監視・更新しています。

[illegible]

中小企業に求められる省エネ対策

光熱費高騰とカーボンニュートラルに関する動向

光熱費高騰の原因は？

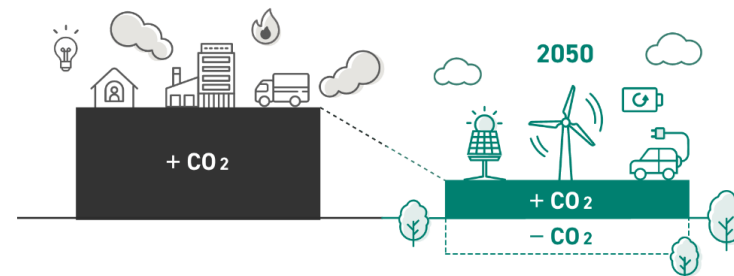
- ・ ウクライナ情勢悪化による石炭や天然ガス等の輸入価格が高騰、電気料金単価の値上げ
- ・ 原子力発電所停止による国内の電力供給量不足

	原油	天然ガス	石炭
1位	サウジアラビア 17%	ロシア 25%	豪州 29%
2位	ロシア 12%	米国 15%	インドネシア 27%
3位	西アフリカ 10%	中東 14%	ロシア 18%

※英BP Statistical Review of World Energy July 2021から丸紅経済研究所作成。数字は世界輸出(2020年)に占めるシェア

カーボンニュートラルに関する動向

- ・ 2020年10月、日本政府は2050年にカーボンニュートラルの実現を目指すことを宣言
- ※カーボンニュートラル・・・温室効果ガス（CO₂等）の排出量を全体（創エネ含めて）でゼロにする
- ・ 2021年4月、2030年度において温室効果ガスを2013年度から46%削減を目指すことを宣言
 - ・ 脱炭素社会の実現に向けた取り組みを通じた、経済社会グリーントランスフォーメーション（GX）を経済産業省が提唱



中小企業への影響（長期的視野）

①世界的な拡大傾向をみせるESG投資

- ・グリーンなものへの資金の流れ
- ・グリーンでないものからの転換を促す流れ

※ESG・・・環境(Environment)・社会(Social)・ガバナンス(Governance)

財務情報だけでなく、環境経営、社会貢献などの非財務情報も考慮した投資

②投資に呼応した大企業の動き

- ・サプライチェーンの頂点の大企業は、グリーンなもの、グリーンな行動を求められる
- ・大企業は、自らの排出量（Scope1,2）だけでなく、サプライチェーン全体の排出量（Scope3）まで把握しているかを問われる。
- ・サプライチェーン内の中小企業にも排出量の把握、削減努力を求める声が出始めている



【引用元】環境省「サプライチェーン排出量算定の考え方」 https://www.env.go.jp/earth/ondanka/supply_chain/gvc/files/tools/supply_chain_201711_all.pdf

脱炭素社会に向けて、中小企業は何をすべきなのか

①自社のCO2排出量の見える化

- ・ $\text{CO2排出量} = \text{エネルギー使用量} \times \text{CO2排出係数}$
- ・ エネルギー使用量…電気、ガス、灯油、重油などの使用量、毎月の検針結果や請求書で確認
- ・ CO2排出係数…エネルギーごとに決まった係数有、電力は電力会社の構成により異なる

②自社のCO2排出量の削減

・ 省エネ（運用改善、設備導入等）

既存設備の最適化、ロスの低減により省エネ、または高効率設備の導入 →**光熱費低減に繋がる**

・ 燃料転換

使用エネルギーの種類をCO2排出係数の低いものへ転換（重油から都市ガス、電化等）

→設備の大幅な入れ替えが必要

・ 再エネ電気の調達

CO2ゼロ電気を調達、発電事業者の再エネ電気メニューへの変換や自家消費太陽光の導入、

再エネ電気証書の購入等 →購入経費が必要

代表的な省エネ対策

省エネ対策には様々な手法がありますが、弊社では以下の3つに区分しています。



運用改善 設備の追加を行わずに、既存の設備の運用方法を変更することで効率を向上させる

空調機の温度設定緩和・不要時の消灯・空調機のフィルター定期清掃
電気温水器のタイマー設定見直し・温水式便座の省エネモード活用 など



設備導入 既存の設備を改修・更新・または、新規に導入し、エネルギー使用効率を向上させる

高効率空調の導入・LED照明の導入・高効率変圧器の導入
高効率給湯器の導入・太陽光発電設備の導入 など



機能付加 既存の設備へ新たな機能を追加、または、部品交換・追加などで効率を向上させる

空調、換気設備のスケジュール運転、間欠運転制御の導入、窓断熱性能向上、
照明への人感センサー追加、ポンプへのインバーター制御の追加 など

代表的な省エネ対策

手法	実施効果	初期費用	備考
運用改善	△小さい	◎原則無料	・無料でできるが効果少 ・継続、定着が難しい
設備改修	◎大きい	×大きい	・効果が大いだが初期費用も大きくかかる ・初期費用には補助金活用が可能
機能付加	○	△	・効果、初期費用共に中程度 ・既存設備や業態によっては実施不可なケースも

最新設備には運用改善機能がデフォルトでついていることも有

➡ 設備改修や機能付加に補助金などの支援策を活用し、低コストで設備更新を実施し、改修後に運用改善を実施することで、**効果を最大化**することが可能

補助金活用可能な設備の例



LED照明



エアコン



太陽光
発電設備



ボイラー



給湯器



変圧器

非常用発電機・高効率建材（断熱・遮熱・ガラス）
工業炉・コジェネ・成型機・加工機などの工作機械
BEMS/EMSなどの制御装置 など

脱炭素経営・省エネ対策に取り組むメリット

①優位性の構築

いち早く省エネ対策に取り組むことで、他社優位性を構築

取引先からの要請に対応することができ、売上や受注機会の維持・拡大

②光熱費・燃料費の低減

直接的な影響。省エネ＝純利益

設備の効率向上や再エネの活用により、電気料金をはじめとした光熱費・燃料費の削減

③知名度や認知度の向上

国や自治体等からの表彰または各種環境関連の認証取得により知名度向上

④社員のモチベーション向上や人材獲得力の強化

グローバルな脱炭素化の流れにより、社員や若い世代にも環境・社会課題への意識が浸透している

社員の共感・信頼を獲得し、社員のモチベーション向上

若い世代の会社選びの基準は給与だけでなく環境・社会課題にある人材も多く、人材獲得力にも繋がる

⑤好条件での資金調達

ESG投資の拡大により、金融機関からの融資にも脱炭素・省エネ経営が評価基準に

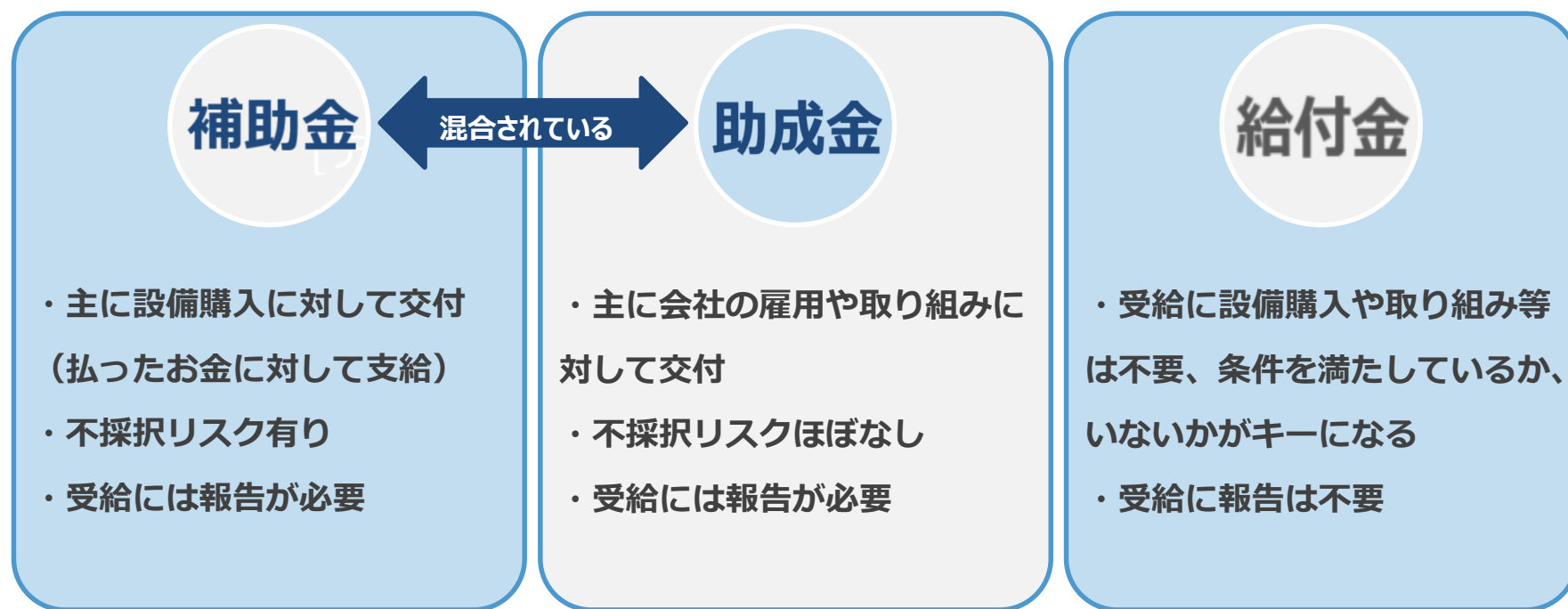
取組を実施することで資金調達上も有利に

補助金とは？

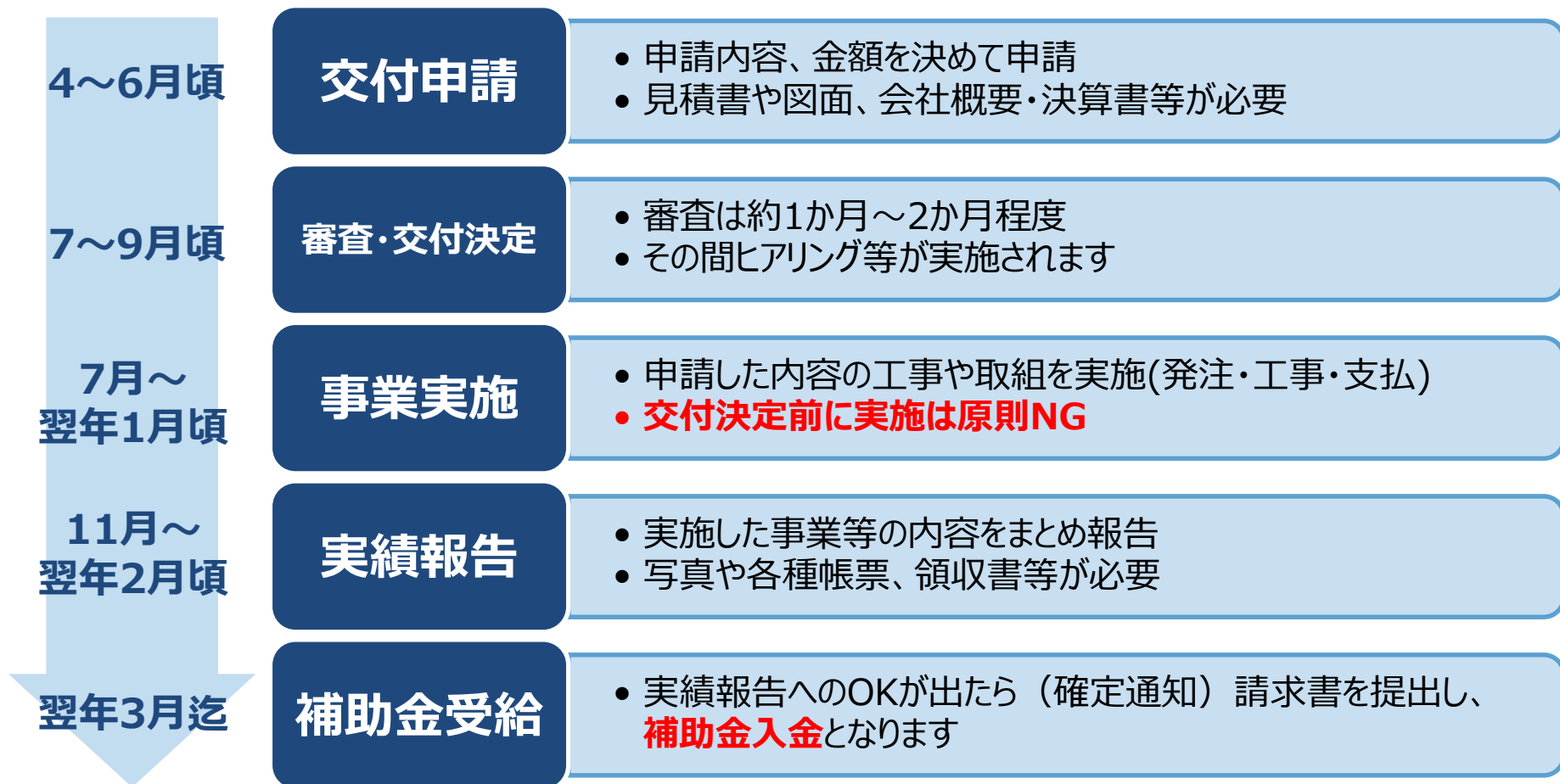
— 補助金の基礎知識 —

補助金とは？ —補助金の基礎知識—

- 企業が行う特定の取り組みに対して交付される、国や地方自治体・民間団体のお金で、原則返済不要
- 補助金・助成金・給付金という名称で若干内容が異なる



補助金の基本的な流れ



❗ 採択後に契約・工事着工となります

❗ 一度工事代を全額支払い終えた後に補助金の入金があります

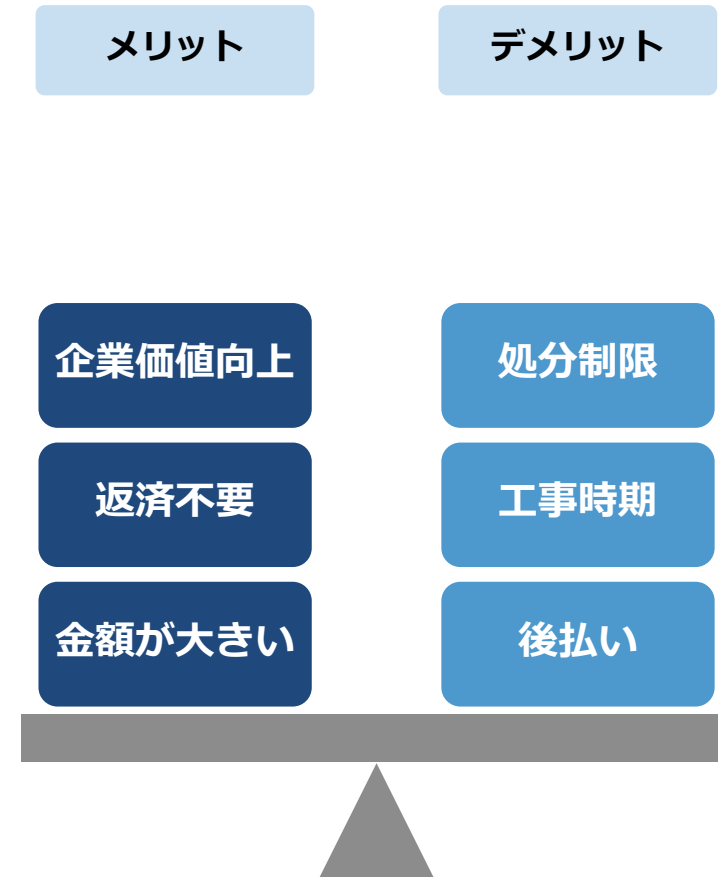
補助金のメリット・デメリット

● 補助金のメリット

- (助成金・給付金と比較して)金額・補助率が大きい
- (融資と比較して)返済不要の資金になる
- 信用力・競争力などが上昇し、企業価値が向上する

● 補助金のデメリット

- (融資等と比較して) 後払いになる
- 工事実施時期が限られてしまう
- 補助金を使って導入した設備は処分制限がかかる



主な補助金・オススメ補助金

主な補助金の例

省庁	補助金名(略称)	対象設備						対象事業者				事業所要件	募集時期 (青色は未定のため R4年度の時期)	補助額		
		空調	照明	変圧器	給湯	太陽光	その他設備	大企業	中小企業	公益法人	自治体			補助率	下限	上限
環境省	<u>SHIFT事業(策定)</u>	-	-	-	-	-	省エネ計画策定	X	○	○	X	50トン以上 3000トン未満	4/13～6/20	3/4		100万円
環境省	<u>SHIFT事業(設備)</u>	○	X	○	○	○	コージェネレーションなど	○	○	○	X	50トン以上	3/29～4/28	1/3		1億円
環境省	<u>民間建築物省CO2化改修支援</u>	○	×	○	○	×		○	○	○	○	工場・倉庫・テナントビル以外	5/23～6/30	1/3		5000万円
環境省	<u>テナントビル省CO2化改修支援</u>	○	×	○	○	×		○	○	○	○	テナントビル	5/23～6/30	1/3		4000万円
環境省	<u>ストレージバリティ</u>	X	X	X	X	○	蓄電池	○	○	○	△(自己所有NG)	-	一次：3/31～4/28 二次：5/15～6/30	定額		1.5億
環境省	<u>高機能換気設備等の導入支援事業</u>	○	X	X	X	X	全熱交換器(必須)	○	○	○	○		一次：3/22～4/28 二次：7/3～8/10	2/3		1333万円
国交省	<u>既存建築物省エネ化推進事業</u>	○	○	○	○	X	断熱、窓など(必須)	○	○	○	○	住居・工場・倉庫などは対象外	4/17～5/22	1/3		5000万円
経済産業省	<u>省エネ投資促進(C)指定設備</u>	○	X	○	○	X	空調、給湯、変圧器など	△(条件あり)	○	○	○	-	一次：3/27～4/24 二次：5/25～6/30	設備の1/3	30万円	1億円
東京都	<u>ゼロエミッション化支援事業</u>	○	○	○	○	X	換気設備等	X	○	○	X	中小規模事業所	4/20～6/20	2/3 (3/4)		1000万円～5000万円
東京都	<u>オフィスビル効率化</u>	○	○	△	○	△	デマンド監視装置	X	○	○	X	テナントビル	4/24～6/30	2/3	100万円	3000万円

省エネルギー投資促進支援事業費補助金

(令和4年度補正 予算250億円)

● 概要

国内事業者のさまざまな省エネ対策への補助。

C、Dの2つ申請パターンがあり、C単独またはC、Dの組み合わせ申請が可能。



ポイント

- ・2回公募予定（2次公募：5月25日～6月30日）
- ・予算消化予定によっては3回目以降も実施
- ・採択率が高い可能性
- ・今後3年間継続予定

● 公募団体

一般社団法人環境共創イニシアチブ（SII）

● 管轄省庁、管轄室

経済産業省 資源エネルギー庁

● 公募期間・スケジュール



● 事業URL

<https://sii.or.jp/shitei04r/>

省エネルギー投資促進支援事業費補助金

(令和4年度補正 予算250億円)

	(C)指定設備導入事業	(D)エネルギー需要最適化事業
概要	事前公募された指定設備を活用した省エネ投資に補助。	事前公募された「エネマネ事業者」との契約および登録されたEMSを導入する省エネ投資に補助。
補助対象事業者	全業種の法人及び個人事業主 ※大企業は「省エネ法Sクラス要件」「ベンチマーク目標 達成見込要件」いずれかが必須 ※株式会社以外の法人（社会福祉法人・医療法人など）は、「その他」として対象	
補助対象設備	・空調 ・ヒートポンプ ・給湯器 ・ボイラー ・変圧器 ・コジェネ ・工業炉	・冷凍冷蔵 ・産業モータ ・調光照明 ・工作機械 ・ダイカストマシン ・プレス機 ・印刷機械 EMS (エネルギーマネジメントシステム)
補助率・上限	設備費の1/3 上限：1億円/年 下限：30万円/年	中小企業等：1/2以内 大企業等：1/3以内 上限：1億円/年度 下限：100万円/年度
申請要件	SIIがあらかじめ定めたエネルギー消費効率などの基準を満たす設備を導入すること	EMSの制御効果、運用改善で省エネ率2%以上

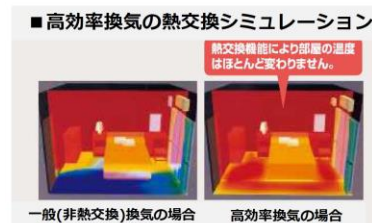
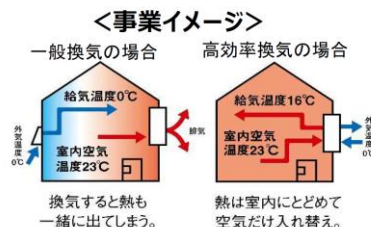
大規模感染リスクを低減するための高機能換気設備等の導入支援事業

(令和4年度補正予算 60億円の内数)

● 概要

不特定多数の人が集まる業務用施設などへ高機能換気設備（全熱交換器）をはじめとした高機能設備の導入を支援する。

採択予定件数：約550件



● 公募団体

一般社団法人静岡県環境資源協会(SERA)

● 対象事業者

民間企業および個人事業主、社会福祉法人、医療法人、一般社団法人、地方公共団体など

● 補助対象設備

(必須) 全熱交換型の換気設備

(任意) 空調、分電盤、電力量計など

● 補助率

最大2/3

● 公募スケジュール

1次：3月22日～4月28日 2次募集：7月3日～8月10日

● 事業URL

http://www.siz-kankyoku.jp/2022hosei_kanki.html

● 管轄省庁、管轄室

環境省 地球局・地球温暖化対策事業室

● 対象事業所

事務所、ホテル、病院、福祉施設、店舗、学校、集会所、スポーツ施設、映画館など

● 補助対象経費

左記設備の設備費、工事費

(照明、給排水、空気清浄機などは対象外)

● 上限額

1,333.3万円

ポイント

- ・全熱交換器のある部屋の空調のみ対象
- ・採択率高め、大企業も対象
- ・令和5年度限り

ストレージパリティの達成に向けた太陽光発電設備等の価格低減促進事業

(令和4年補正 予算90億円の内数 令和5年度 予算42.6億円の内数)

● 概要

オンサイト PPA モデル等による自家消費型の太陽光発電設備や動く蓄電池としての電気自動車を含む蓄電池等を導入する事業に対する補助金

※ストレージパリティ=蓄電池を導入しないよりも、導入した方が経済的メリットが発生する状態

● 公募団体

一般財団法人環境イノベーション情報機構

● 管轄省庁、管轄室

環境省地球環境局地球温暖化対策課地球温暖化対策事業室

● 対象事業者

民間企業、個人事業主、一般社団法人、地方公共団体 など

ポイント

- ・太陽光に活用できるオーソドックスな補助金
- ・採択率は低め

● 補助対象設備

- ・太陽光発電設備（自家消費型、オンサイトPPAなども対象）
- ・蓄電池 ・車載型蓄電池 など

● 補助率および上限額

太陽光発電設備：4万円/kW、オンサイトPPAモデルの場合は5万円/kW

蓄電池：産業用は5.3万円/kW、家庭用は4.7万円/kW

車載型蓄電池：蓄電池容量(kWh)×1/2×4万円、充放電設備：1/2+設置工事費 定額

● 公募期間・スケジュール

公募期間 一次：令和5年3月31日～4月28日 二次：令和5年5月15日～6月30日

応募申請



採択決定



交付申請



交付決定



施工・支払



実績報告



補助金交付



事業報告

● 事業URL

https://www.eic.or.jp/eic/topics/2023/st_r04c/001/

【東京都】ゼロエミッション化に向けた省エネ設備導入・運用改善支援事業

● 概要

東京都内の中小企業の実施する省エネ施策への補助
省エネ診断実施済みの場合、または、
ゼロエミッション化に向けた大きな取組の場合、
補助率・上限がアップする

● 公募団体

東京都環境公社(クール・ネット東京)

● 対象事業者

都内の中小企業、社会福祉法人、
医療法人、一般社団法人、地方公共団体など

● 補助対象設備

LED・空調・ボイラー・変圧器・BEMS・人感セン
サー・その他運用改善工事 など

● 補助率および上限額

- | | | |
|---------------|-------|-----------|
| ① 省エネ診断実施済 | : 2/3 | 上限2,500万円 |
| ② ①で省エネ率50%以上 | : 3/4 | 上限5,000万円 |
| ③ 省エネ診断未実施 | : 2/3 | 上限1,000万円 |

● 公募スケジュール

1次公募：4月20日～6月20日

● 事業URL

<https://www.tokyo-co2down.jp/subsidy/zeroemi-shoene>



● 対象事業所

都内中小規模事業所
(一定以下のエネルギー使用量の事業所)

● 補助対象経費

左記設備の設備費、工事費

ポイント

- ・第2回、第3回の公募も予定
- ・完工は翌年夏まで猶予有り
- ・審査に時間がかかることが予想される

【東京都】オフィスビル等のエネルギー効率化による経営安定事業

● 概要

東京都内の中小企業の所有する都内オフィスビルに対して、
専門家派遣および専門家の助言に基づいた設備導入に対する補助を実施

● 公募団体

東京都中小企業振興公社

● 対象事業者

都内の中小企業、個人事業主

● 補助対象設備

専門家の助言に基づいた省エネ設備
(空調・LED・給湯・デマンド監視装置など)

● 補助率および上限額

2/3 3,000万円 (下限100万円)

● 公募スケジュール

専門家申込期間：4月24日～6月30日

● 対象事業所

都内中小規模オフィスビル
(一定以下のエネルギー使用量の事業所)

● 補助対象経費

左記設備の設備費、工事費

ポイント

- ・専門家派遣を受ける必要有
- ・工期に余裕を持てる
- ・該当する場合は専門家派遣申込を



● 事業URL

https://www.tokyo-kosha.or.jp/support/josei/jigyo/building_energy.html

補助金活用事例

事例① 商業施設への高効率空調設備の導入

東京都書店ビル

秋葉原にある10階建ての書店ビル。
補助金を活用して空調設備の更新を実施。
結果、空調による電気使用量の28.4%削減を達成。



補助金名	中小企業等の省エネ・生産性革命投資推進事業費補助金
更新設備	空調設備
総工事費	約4,600万円
補助金額	約850万円
実質負担	約3,750万円（約19%削減）
省エネ率	空調による電気使用量28.4%削減

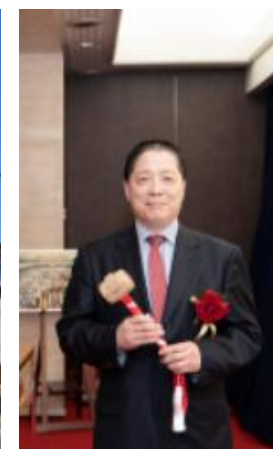


事例② 介護施設のZEB化

ファミリー・ホスピス株式会社 様

令和2年5月オープンの新築ホスピス。
最新の設備、断熱材、太陽光発電設備、BEMS等を導入し、ZEB Readyを達成。
年間削減効果は約633万円/年。
補助金額は約2,700万円。

補助金名	業務用施設等におけるZEB化・省CO2促進事業
導入設備	高効率空調・LED照明・高性能建材・高効率換気・全熱交換器・省エネ仕様給湯器・太陽光発電設備・蓄電池・BEMS など
補助金額	約2,700万円
省エネ率	一般建築物と比較して51.8%



事例③ 病院・介護施設の診断および省エネ改修

水戸病院 様

昭和37年設立の認知症治療に力を入れた病院。CO2ポテンシャル診断を実施後、補助金2,600万円を取得。老朽化した施設の空調・ボイラー・照明の改修を行う。年間の削減経費額は年間530万円の見込み。

補助金名	エネルギー使用合理化事業者支援事業 (事業場単位)
更新設備	空調・ボイラー・照明
総工事費	約9,000万円
補助金額	約2,600万円
実質負担	約6,400万円 (約28%削減)
省エネ率	事業所全体の約19%



事例④ 食品工場への太陽光発電設備・LED照明の導入

株式会社にしき食品 様

1939年、宮城県仙台市にて創業したレトルト食品製造工場。金融機関からの融資を受ける際の条件として、工場の省エネに関する実施目標があり、エスコが省エネのお手伝いをご提案。

自家消費型太陽光発電設備を補助金を活用して導入し、デマンド値を100 kW削減。

太陽光パネルによる屋根の遮熱効果で、空調の負荷を大幅軽減。

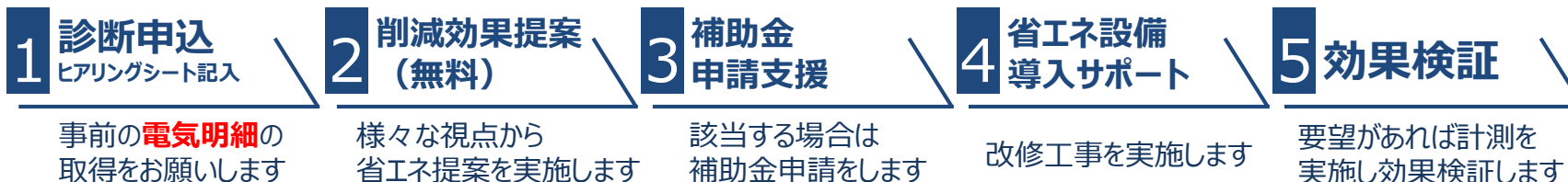
その後はLED照明も宮城県の補助金を活用して導入し、環境企業としてのアピールも。

補助金名	再生可能エネルギー発電システム等事業者導入促進対策事業
更新設備	太陽光発電設備
省エネ率	事業所全体の約10%



エネルギーコスト削減診断について

エスコでは簡易無料診断を実施しており、以下のようなフローで**無料エネルギーコスト削減診断**を実施しています。



株式会社エスコ 御中

エネルギーコスト削減診断
ヒアリングシート

①基本情報 (必須)

法人名	業種
代表者	業種
本社所在地	支店
ご担当者	TEL
	E-mail
受診事業所	所在地
	業種
電気契約種別	高圧電圧 or 低圧電圧

②添付資料

☐ 電気料金明細書 ☐ ガス料金明細書 ☐ 添付資料なし

③エネルギー情報

電気料金	月額目安	円	年間目安	円
ガス料金 (任意)	月額目安	円	年間目安	円

④照明・空調設備状況

照明設備: ☐ LED照明 ☐ 一部のみ ☐ 未導入 ☐ 空調設備: 使用状況 年 台数 台

⑤下記の設備を所有している場合チェックをお願いします。

☐ ボイラー設備	☐ 業務用冷蔵庫設備	☐ 太陽光設備	☐ コンプレッサ
☐ エレベーター	☐ ポンプ機	☐ キュービクル	☐ 生産設備

申込時に設備の使用状況や物件情報、
月々のエネルギーコスト等を確認させていただきます

令和2年10月6日

エスコ電子ブレーカーのご提案

サンプル株式会社 御中

株式会社 エスコ
〒165-0074

〒165-0074 東京都千代田区千代田 1-1-1 新館ビル2階 12号
TEL: 03-5332-3511 FAX: 03-5332-3511

株式会社サンプル 様

診断日: 令和2年10月6日
事業所名: サンプル工場
ご担当者様:

ご提供いただきましたヒアリングシート、エネルギーデータ、ヒアリングにより、貴社の設備実情のうち省エネ項目として削減できる可能性のある対策をまとめました。今後ご参考として資料、ご活用ください。

◆エネルギーご使用状況◆

右表は、ご提供いただきましたエネルギーデータをCO2排出量へ換算したものです。年間のうち最も削減量の多い10月に比べ、8月の削減量が約3割となっており、また、11月に比べて1月の削減量が約4割となっており、季節により削減、増減の差が大きいことが伺えます。削減の余地が大きいことが伺えます。

◆ヒアリング総括◆

電工は、空調機について調査をさせていただいたことでしたので、両側面と両側面、両側面の両側面で行った場合のコストメリット、導入量を算出させていただきました。

短期スパンで導入した場合の削減効果、冷暖・照明の設置場所の確保をされていることでしたが、例えば、照明設置されていない人感センサーや、空調機のスラムについてもご検討していただければと思います。

遠隔地に設置している、照明・空調機について既に工事のオプションはされていることでしたが、施設によっては大きいモーターが設置されている場合もございます。経費からご検討いただき、今後の削減効果についてご検討ください。

削減効果提案にて各設備の消費電力量・設備改修した場合のシミュレーション等をご提示させていただきます

エスコの補助金申請サービスの特徴

完全 成功報酬

報酬は完全成功報酬となります
不採択の場合は報酬発生無し！

事務作業 の低減

お客様側での作業は、書類の捺印、
およびお客様でしか入手できない資料の提供
のみとなります（決算書・エネルギー明細など）

申請・採択後まで ワンストップ対応

補助金申請・採択後・入金後1～5年間発生する報
告業務すべてに対応可能

報酬発生 タイミング

報酬発生は、お客様へ補助金が入金された後となりま
す。**また、弊社が施工実施の場合は無償対応可能な
ケースもございます！**